

平成29年 救急統計

とかち広域消防事務組合

凡 例

- 1 本書は、平成29年中に発生した救急事故全般について、救急事故等報告要領に基づいて算出したものを統計資料としてまとめたものです。
- 2 数字の単位未満は四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。
- 3 表中で使用した符号は下記のとおりです。
「-」・・・該当数字又は集計値のないもの
「※」・・・注釈
「▲」・・・マイナス表示

目 次

救急業務の実施状況

- 1 救急出動件数及び搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
 - 2 事故種別ごとの救急出動件数及び搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3 ページ
 - 3 年齢区分別の搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
 - 4 傷病程度別の搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ページ
 - 5 救急出動における現場到着所要時間及び病院収容所要時間・・・・・・・・・・ 6 ページ
- 別表 十勝管内消防署別救急出動件数と搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ

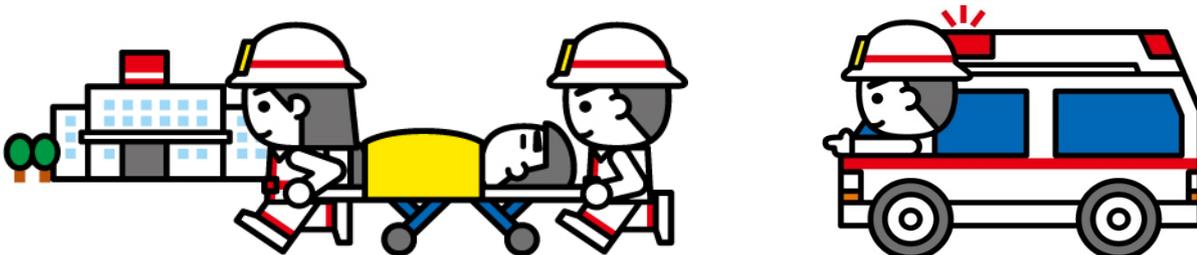
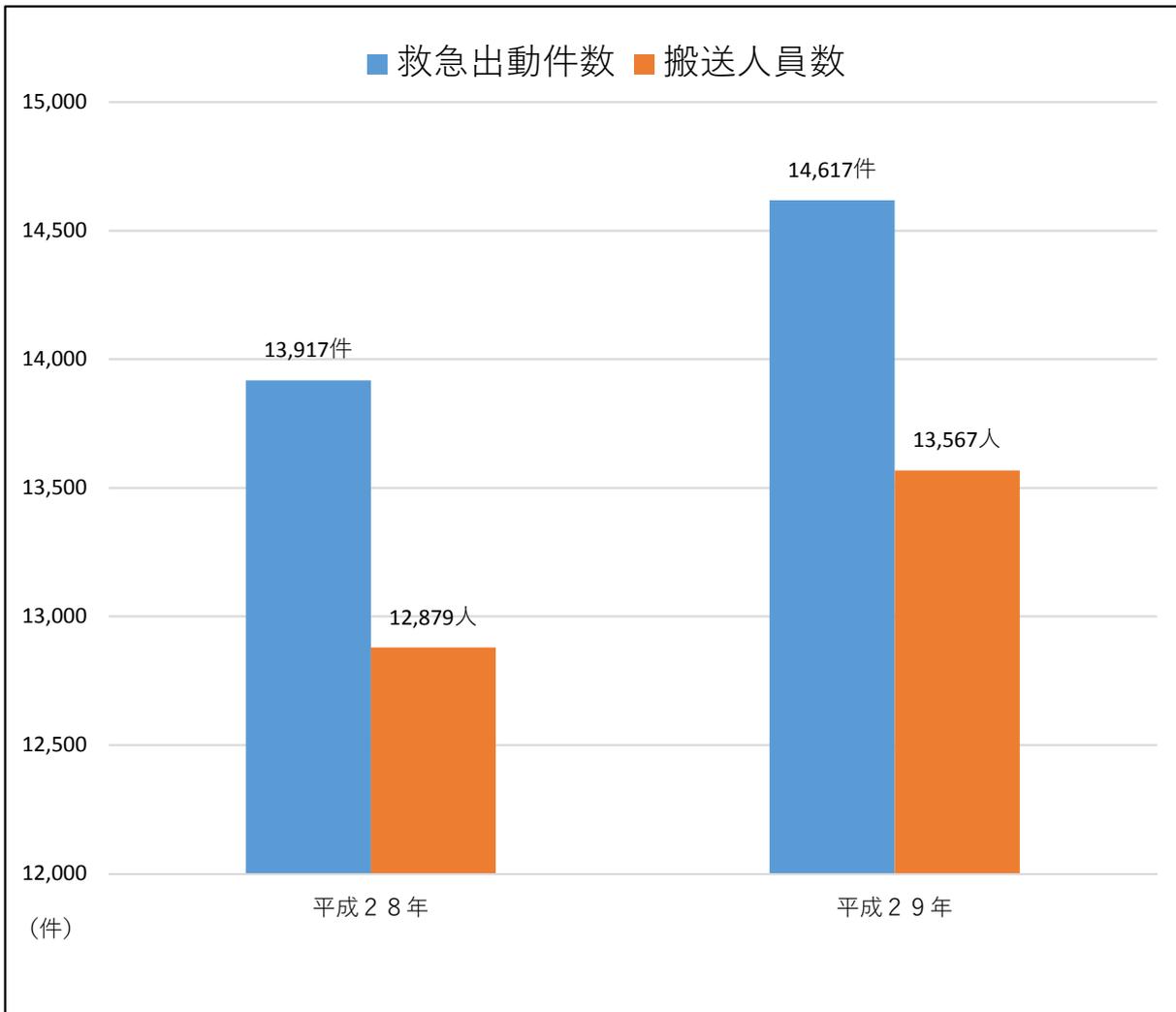
救急業務の実施状況

1 救急出動件数及び搬送人員数

平成29年中の救急出動件数は、14,617件（対前年比700件増、5.0%増）、搬送人員数は13,567人（対前年比688人増、5.3%増）で救急出動件数、搬送人員数ともに過去最多となりました。（図1参照）

救急車は36.0分に1回の割合で出動し、十勝管内の住民25人に1人が搬送されたこととなります。

図1 救急出動件数及び搬送人員数の推移



2 事故種別ごとの救急出動件数及び搬送人員数

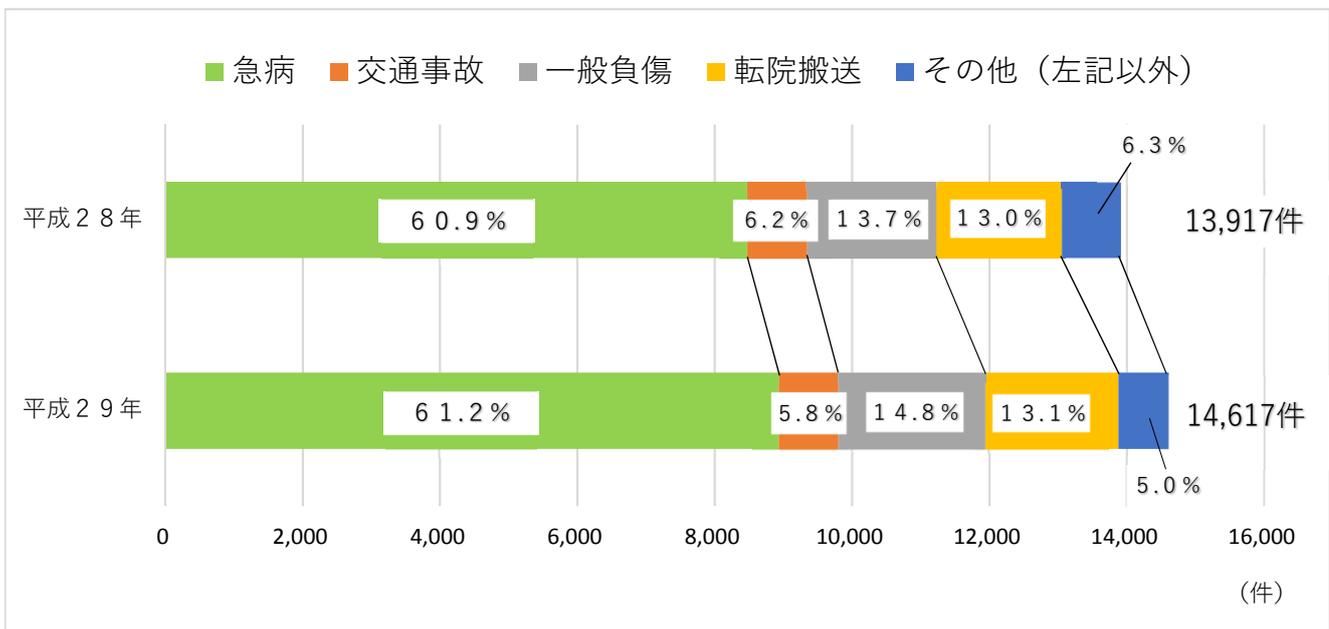
平成29年中の救急出動件数の内訳を事故種別ごとにみると、急病が8,943件（61.2%）、一般負傷が2,166件（14.8%）、交通事故852件（5.8%）などとなっています。（表1参照）

事故種別ごとの救急出動件数の推移をみると、急病、一般負傷及びその他は増加している一方で、自然災害、交通事故、運動競技及び自損行為などいずれの事故種別も減少しました。（図2参照）

表1 事故種別ごとの救急出動件数対前年比

事故種別	平成29年中		平成28年中		対前年比		
	出動件数	構成比 (%)	出動件数	構成比 (%)	増減数	増減率	
火災	51	0.3	53	0.4	▲ 2	▲ 3.8	
自然災害	0	0.0	13	0.1	▲ 13	▲ 100.0	
水難	12	0.1	13	0.1	▲ 1	▲ 7.7	
交通事故	852	5.8	863	6.2	▲ 11	▲ 1.3	
労働災害	174	1.2	175	1.3	▲ 1	▲ 0.6	
運動競技	118	0.8	126	0.9	▲ 8	▲ 6.3	
一般負傷	2,166	14.8	1,900	13.7	266	14.0	
加害	35	0.2	40	0.3	▲ 5	▲ 12.5	
自損行為	124	0.8	168	1.2	▲ 44	▲ 26.2	
急病	8,943	61.2	8,471	60.9	472	5.6	
その他	転院搬送	1,920	13.1	1,806	13.0	114	6.3
	医師搬送	1	0.0	0	0.0	1	-
	資機材等搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	221	1.5	289	2.1	▲ 68	▲ 23.5
合計	14,617	100	13,917	100.0	700	5.0	

図2 事故種別ごとの救急出動件数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

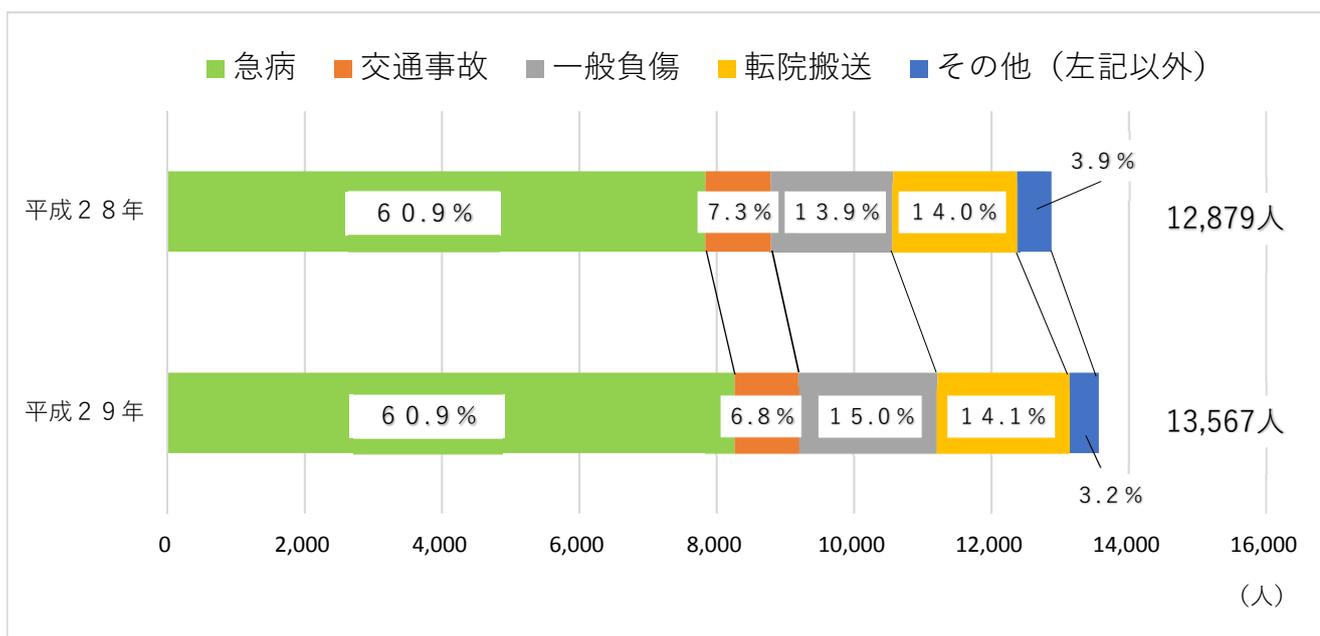
平成29年中の搬送人員数の内訳を事故種別ごとにみると、急病が8,262人（60.9%）、一般負傷が2,030人（15.0%）、交通事故が927人（6.8%）などとなっています。（表2参照）

事故種別ごとの搬送人員数の推移をみると、事故種別ごとの救急出動件数と同じように、急病、一般負傷及びその他は増加が著しい一方で、自然災害、交通事故、運動競技及び自損行為などは減少しました。（図3参照）

表2 事故種別ごとの搬送人員数対前年比

事故種別	平成29年中		平成28年中		対前年比		
	搬送人員数	構成比 (%)	搬送人員数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
火災	21	0.2	18	0.1	3	16.7	
自然災害	0	0.0	9	0.1	▲9	▲100.0	
水難	5	0.0	2	0.0	3	150.0	
交通事故	927	6.8	943	7.3	▲16	▲1.7	
労働災害	171	1.3	171	1.3	0	0.0	
運動競技	114	0.8	127	1.0	▲13	▲10.2	
一般負傷	2,030	15.0	1,786	13.9	244	13.7	
加害	29	0.2	34	0.3	▲5	▲14.7	
自損行為	74	0.5	110	0.9	▲36	▲32.7	
急病	8,262	60.9	7,842	60.9	420	5.4	
その他	転院搬送	1,919	14.1	1,803	14.0	116	6.4
	医師搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	資機材等搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	15	0.1	34	0.3	▲19	▲55.9
合計	13,567	100.0	12,879	100.0	688	5.3	

図3 事故種別ごとの搬送人員数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

3 年齢区別の搬送人員数

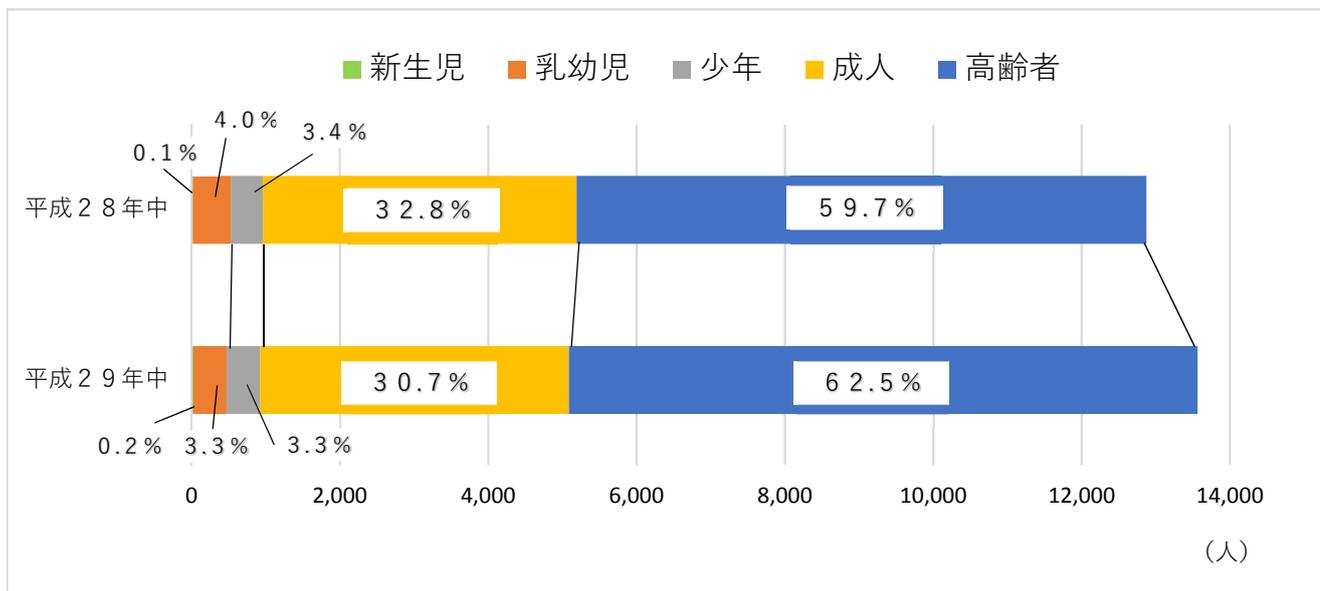
平成29年中の搬送人員数の内訳を年齢区別にみると、高齢者が8,479人（62.5%）、成人が4,161人（30.7%）、乳幼児が451人（3.3%）などとなっています。（表3参照）

年齢区別の搬送人員数の推移をみると、高齢者の搬送割合は増加しています。（図4参照）

表3 年齢区別の搬送人員数対前年比

年齢区分	平成29年中		平成28年中		対前年比	
	搬送人員数	構成比 (%)	搬送人員数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
新生児	25	0.2	19	0.1	6	31.6
乳幼児	451	3.3	512	4.0	▲ 61	▲ 11.9
少年	451	3.3	435	3.4	16	3.7
成人	4,161	30.7	4,227	32.8	▲ 66	▲ 1.6
高齢者	8,479	62.5	7,686	59.7	793	10.3
合計	13,567	100.0	12,879	100.0	688	5.3

図4 年齢区別の搬送人員数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 年齢区分の定義

- 新生児 : 生後28日未満
- 乳幼児 : 生後28日以上満7歳未満
- 少年 : 満7歳以上満18歳未満
- 成人 : 満18歳以上満65歳未満
- 高齢者 : 満65歳以上

4 傷病程度別の搬送人員数

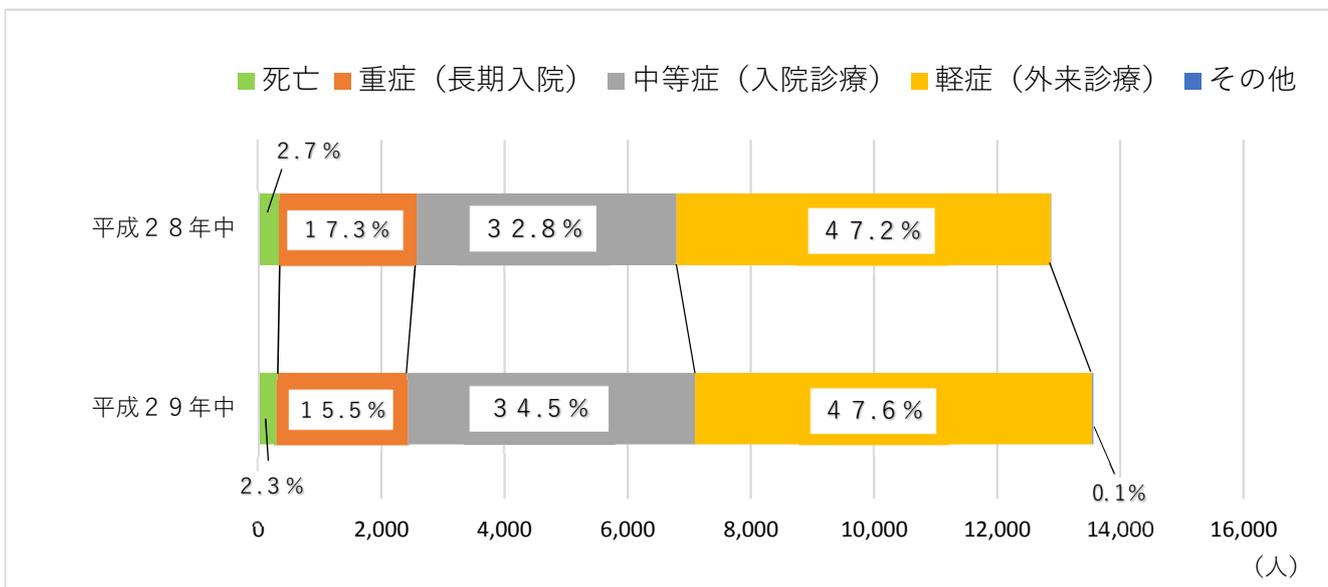
平成29年中の搬送人員数の内訳を傷病程度別にみると、軽症（外来診療）が6,452人（47.6%）、中等症（入院診療）が4,680人（34.5%）、重症（長期入院）が2,101人（15.5%）などとなっています。（表4参照）

傷病程度別の搬送人員数の推移をみると、搬送人員数に占める軽症の割合は、約5割で推移しています。（図5参照）

表4 傷病程度別の搬送人員数対前年比

	平成29年中		平成28年中		対前年比	
	搬送人員数	構成比 (%)	搬送人員数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
死亡	316	2.3	344	2.7	▲ 28	▲ 8.1
重症（長期入院）	2,101	15.5	2,230	17.3	▲ 129	▲ 5.8
中等症（入院診療）	4,680	34.5	4,222	32.8	458	10.8
軽症（外来診療）	6,452	47.6	6,080	47.2	372	6.1
その他	18	0.1	3	0.0	15	500.0
合計	13,567	100.0	12,879	100.0	688	5.3

図5 傷病程度別の搬送人員数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 傷病程度の定義

- 死亡：初診時において死亡が確認された方
- 重症（長期入院）：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とする方
- 中等症（入院診療）：傷病程度が重症または軽症以外の方
- 軽症（外来診療）：傷病程度が入院加療を必要としない方
- その他：医師の診断がない方及び傷病程度が判明しない方、もしくはその他の場所に搬送した方

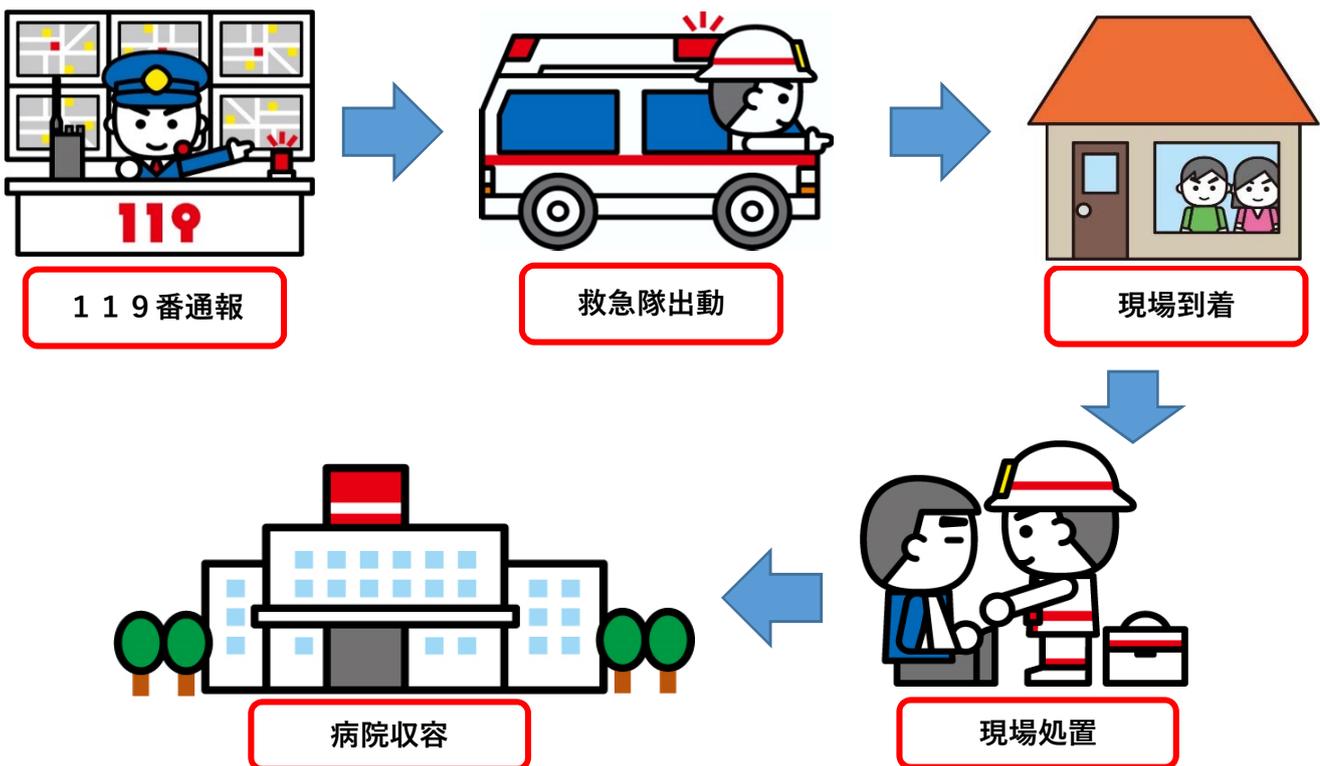
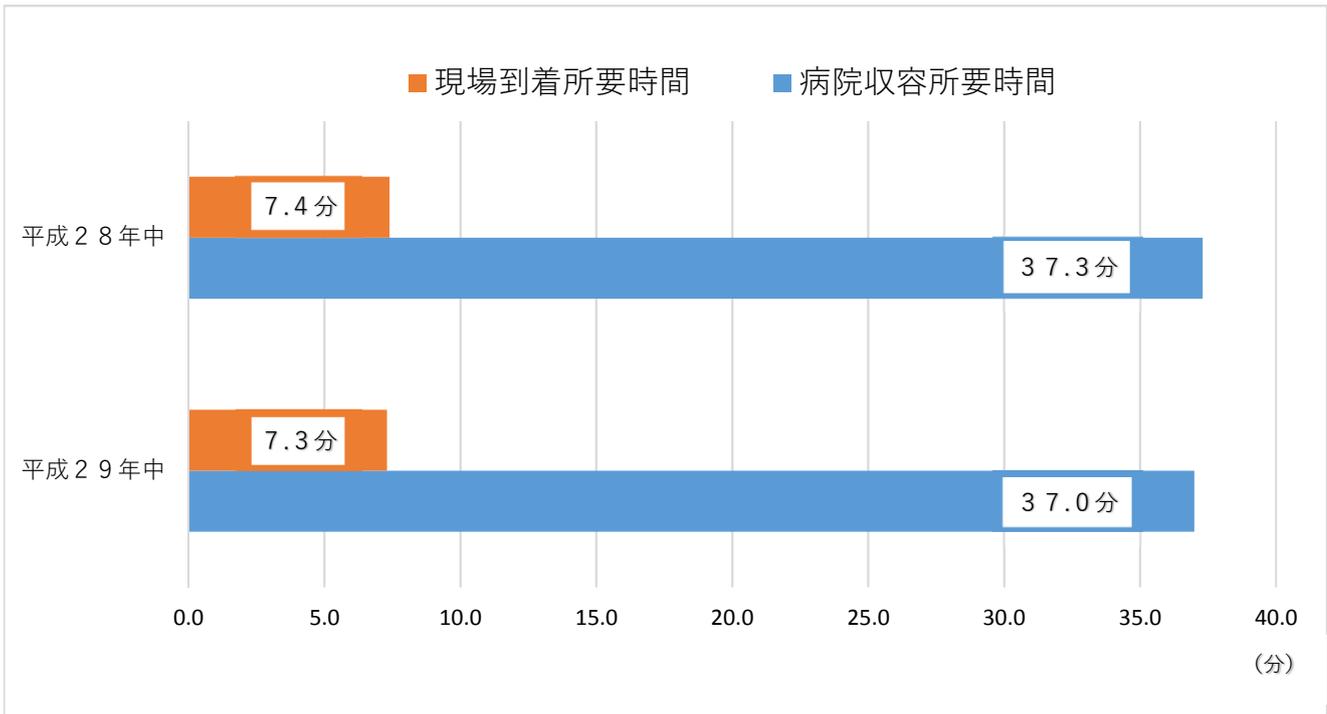
※ 傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった方や通院による治療が必要だった方も含まれています。

5 救急出動における現場到着所要時間及び病院収容所要時間

平成29年中の現場到着所要時間（119番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間）は、十勝平均で7.3分となっています。（図6参照）

また、病院収容所要時間（119番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間）は、十勝平均で37.0分となっています。（図6参照）

図6 現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移



別表 十勝管内消防署別救急出動件数と搬送人員

	救急出動件数				搬送人員			
	平成29年	平成28年	増減	増減率	平成29年	平成28年	増減	増減率
帯広消防署	7,441	6,996	445	6.4%	6,643	6,291	352	5.6%
音更消防署	1,511	1,427	84	5.9%	1,429	1,325	104	7.8%
士幌消防署	274	261	13	5.0%	266	245	21	8.6%
上士幌消防署	244	235	9	3.8%	240	225	15	6.7%
鹿追消防署	215	185	30	16.2%	211	177	34	19.2%
新得消防署	255	245	10	4.1%	241	242	▲ 1	▲ 0.4%
清水消防署	357	333	24	7.2%	346	326	20	6.1%
芽室消防署	739	685	54	7.9%	748	658	90	13.7%
中札内消防署	171	186	▲ 15	▲ 8.1%	167	174	▲ 7	▲ 4.0%
更別消防署	96	108	▲ 12	▲ 11.1%	93	104	▲ 11	▲ 10.6%
大樹消防署	237	231	6	2.6%	229	227	2	0.9%
広尾消防署	329	306	23	7.5%	324	291	33	11.3%
幕別消防署	1,151	1,120	31	2.8%	1,094	1,056	38	3.6%
池田消防署	338	341	▲ 3	▲ 0.9%	326	321	5	1.6%
豊頃消防署	145	141	4	2.8%	132	133	▲ 1	▲ 0.8%
本別消防署	401	413	▲ 12	▲ 2.9%	380	397	▲ 17	▲ 4.3%
足寄消防署	385	383	2	0.5%	384	377	7	1.9%
陸別消防署	135	135	0	0.0%	130	131	▲ 1	▲ 0.8%
浦幌消防署	193	186	7	3.8%	184	179	5	2.8%
十勝総数	14,617	13,917	700	5.0%	13,567	12,879	688	5.3%

作成担当

とちぎ広域消防局救急企画課

平成30年11月作成